

郡上市〇〇〇〇条例 前文（案）

豊かな自然と温かい心、そして歴史と文化が息づく「ふるさと郡上市」。

私たちはこのふるさとを誇りに思い、いつまでも住み続けられる地域であることを願っています。

郡上市には、それぞれの風土、習慣、伝統を持った7つの地域があります。私たちは、先人たちが綿々と受け継いできたこれらの「たからもの」を守り、さらに磨きをかけて次世代へつないでいかなければなりません。そのためには、市民一人ひとりが力を出し合い、郡上市としてまとまっていくことが必要です。

市民と議会と行政のそれぞれの役割を明確にし、人とひととのつながりを大切にした協働によるまちづくりを進めるため、この郡上市〇〇〇〇条例を定めます。

【解 説】

郡上市は、日本のほぼ真ん中のに位置し、約90%を山林が占め、白山連峰をはじめとする深い山々に源をもつ長良川、吉田川その他、和良川、石徹白川など、大小24もの河川が市内を流れています。先人たちは、こうした「いのち」を育む豊かな森や水に感謝し、長い歳月をかけて、自然とともに生きる暮らしの知恵を育んできました。感謝の気持ちと生活に息づく知恵は、1,300余年の歴史を持つ白山文化や、古今伝授の心、円空文化、寒水地区や戸隠神社等の祭礼、あるいは郡上八幡の城下町文化となって、いまに受け継がれています。

郡上市は平成16年3月に、八幡町、大和町、白鳥町、高鷲村、美並村、明宝村、和良村の7地域が合併し誕生しました。面積は1,030㎢という広大な市域を有し、北では2メートルの積雪がありながら南ではほとんど雪がないといった多様な気候風土の中、それぞれの地域には長年培ってきた習慣や伝統芸能があります。それらは先人が築き受け継いできた「たからもの」であり、これを生かし、そして次世代へ引き継いでいくことは、私たち市民の責務といえます。

地方分権という社会の大きな転換のなかで、郡上市が持続可能なまちづくりをすすめるためには、市民が自治の主体となり、お互いの個性を認め合い、絆を大切にする心を持ちながら、郡上市として共通の目標を定めまとまっていくことが重要です。

これからの郡上市は、住民自治の担い手である市民と議会、行政がお互いの立場、それぞれの役割を明確にし、自主、自律の精神を高め、いつまでも安心して暮らし続けられる「ふるさと郡上市」を目指し努めていきます。